

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

平成15年5月8日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「宮古地区および釜石地区では、付着稚貝数が増加。」

1 ラーバの出現状況

5月7日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μm未満が26個/トン、200 μm以上が62個/トンと、前回調査時（合計47個/トン）より増加しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は8.6と、前回調査時より約2上昇しています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月6日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。しかし、付着数は、5～240個/袋と、調査地点間のばらつきが大きくなっています。

大船渡地区で横這いであるのに対して、宮古地区および釜石地区では増加しています。



図 調査地点および付着稚貝調査結果

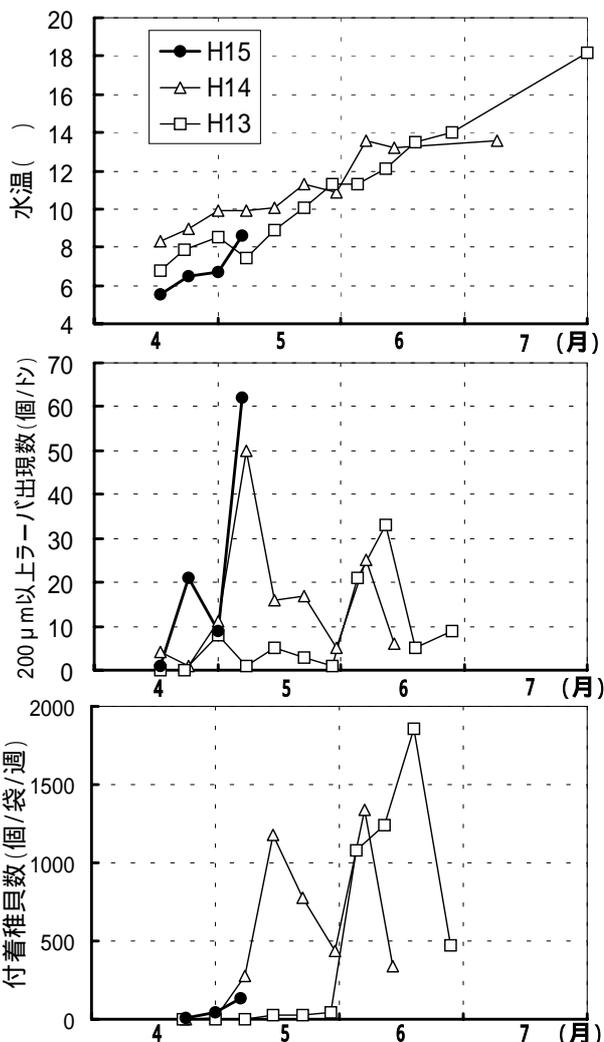


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

釜石地区では、水温の急激な上昇とともに、付着間近の大型のラーバが多数確認され、付着稚貝数も増加しています。

しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

今後の調査結果に注意してください。

次報は、5月16日頃発行する予定です。